



発行所 国鉄労働組合 盛岡地区本部  
発行者 佐々木 政志  
編集者 及川 孝  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2026.1.1  
第1558号

新年  
特集号



2026年 午年

= 〈原爆ドーム（広島市・平和公園）被爆80周年原水爆禁止世界大会・広島大会で及川孝副委員長・2025年8月4日撮影〉 =

年頭のあいさつ

もう一人の仲間づくりに  
全力を挙げよう！

地区本部執行委員長

佐々木 政志



執行委員長の佐々木です。2026年の年頭にあたり地区本部執行委員会を代表しごあいさつを申し上げます。

1点目は、JR東日本が昨年5月に発表した「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方」についてです。組織改正では、新たに本社の下に36の事業本部を設置し、従来の「非現業」と「現業」の「当たり前」を超えて、これまで以上に地域密着の事業運営に移行するとされています。同時に、これまでの基本給を「職務能力給」に改め、昇給額を職責に応じて6つに区分し、1年間の成果をきめ細かく反映するとしています。この制度改正では成果主義・能力主義が色濃く反映された内容が包含され、社員間のさらなる競争の激化など大きな問題点を抱えるものと

なっています。

さらに、7月1日には新たなグループ経営ビジョン「勇翔2034」が発表されました。その中では、新しい変革ビジョンとして「モビリティ（鉄道）」と「生活ソリューション」の2軸経営で2031年度売上高4兆円を目指し、その先は5兆円に向けた成長軌道を描くとしています。しかし、その数値の達成に向けては、さらなるコストの削減も含まれていることをしっかりと見なければなりません。

コロナ禍以降の急激な組織の再編、聖域なきコスト削減の一方で増大する相次ぐ重大事故、大規模輸送障害や輪軸組み立て作業におけるデータ問題など企業への信頼や安全に対するの労働組合の存在が強く求められております。

2点目は組織問題についてです。昨年は国労東日本本部として9地方本部体制から2地方本部体制へと移行しました。組織再編の趣旨は、厳しい組織現状を直視し、組

織のコンパクト化に向けた第一歩にあります。

国鉄世代がJR世代に責任を持ち、過度な負担をさせることなく組織を引き継ぎ「国労」を守るためにも、変えるべきところは変え残すべきところはしっかりと残していく判断が求められます。同時に、さまざまな視点から仕事を通じてかわりを持ち組織の拡大を図ることにあります。引き続き、国鉄世代・JR世代一体で「もう一人の仲間づくり」に全力を挙げましょう。

3点目は、平和と民主主義を守る闘いについてです。昨年、高市新政権が発足し「台湾有事発言」に見られるようにその反動政治を露わにしております。私たちは、あらゆる平和と民主主義を脅かす動きにただの傍観者でなく「武力で平和は作れない」ことをお互いが確認し、引き続き行動を積み重ねていくことが必要不可欠です。

以上3点について触れましたが、この他にも物価高騰での継続した賃上げを求める26春闘の取り組みや、地方ローカル線の問題など、重要な課題が山積しています。全組合員とご家族が健康やかな年となることをご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

〈本年もよろしくお祈りします〉

地区本部役員

執行委員長 佐々木 政志 (青森地域分会)

執行副委員長 及川 孝 (盛岡地域分会)

書記長 菊池 要悦 (盛岡地域分会)

執行委員 小笠原 勝豊 (盛岡地域分会)

執行委員 綾 織 明 (盛岡地域分会)

特別執行委員 石田 春夫 (青森地域分会)

特別執行委員 阿部 茂樹 (一関地域分会)

特別執行委員 佐々木 力 (国労会館盛岡地方部)

特別執行委員 沢田 光広 (国労会館盛岡地方部)

会計監査 淡路 明則 (盛岡地域分会)

会計監査 沖田 司男 (八戸地域分会)

地区本部書記・職員

小 林 良宏  
広 野 登美  
大 宮 千恵子

# 新年あけましておめでとうございます

## 自維政権と高市内閣を許さず 平和の継承を一步前へ

地区本部議員団

団長 木村 幸弘



2026年、組合員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年自民維新による高市政権が誕生し、超タカ派の高市氏と維新が固まることにより一気には日本の政治勢力は、参政党、保守党をはじめとする極右思想保守回帰を強める野党とも運動し、日本が戦後80年から新たな戦前へと動き出しました。高市総理の台湾有事問題発言は、まさに軍国主義と力によるアジア外交の在り方を示すものであり、さらに憲法改正、非核三原則見直し、攻撃型原子力潜水艦配備計画、国内港湾・空港の軍事利用化確立等々、防衛予算の拡大と併せて中国、ロシア、北朝鮮に対峙する日本列島不沈空母化を推し進め、新たな軍事的緊張を高める地域へと変貌させようとしています。

このような自維政権と高市内閣を私たちは平和と民主主義を守る為、断じて許すわけには参りません。

また、一方で野党の対応は、先鋭化する与党勢力に対して日米同盟基軸の軍事同盟を容認した上で防衛費増額や防衛力増強路線に曖昧に依拠する姿勢と中道保

守という物わりのいい優等生的政治スタンスの下では、残念ながら政権交代への力強い意思が見えませんが、政治が国民一人ひとりの力と意思の結集によって示され、行動によって変革を起すことが求められます。今、政治は国民の頭越しに国民不在の空中戦の議論によって決定されており、これでは我々が求める国民の真の声や現場の実態、何故社会が不安定なのか、格差、差別、貧困問題など、憲法に基づく国民のいのちと暮らしを守る闘いはますます追いやられる状況です。あらためて、今一度私たちの暮らしと子どもたち、若者たちの未来を見据え、平和憲法の下に先輩諸氏が闘い守ってきた、闘う組織の火を絶やすことなく平和の継承を一步前に進める年としましょう。

### 【地区本部議員団】

- 木村 幸弘 (岩手県議会議員)
- 阿部 一男 (花巻市議会議員)
- 星 あつ子 (北上市議会議員)
- 千葉 信吉 (一関市議会議員)
- 高橋 伸二 (平泉町議会議員)



## 誰もが安心して生活できる 社会を創ろう

平和環境若手県センター

議長 佐藤 工



あけましておめでとうございます。

国労組合員の皆様におかれましては、日頃から県センターの運動に対しご理解・ご協力をいただきありがとうございますことに感謝申し上げます。また、昨年7月に行われた参議院選挙においてもご尽力いただきました。今後も更なるご協力をお願いいたします。

## 平和主義を強く訴え続け 運動を強化していこう

青森県平和推進労働組合会議

議長 阿部 一久



あけましておめでとうございます。

日頃より、青森県平和労働組合の取り組み運動に、

ご理解ご協力を頂いております事に心から感謝を申し上げます。昨年発足した高市政権では、これまでの自公連立政権とは打って変わり、公明党の離脱で歯止め役が不在となり、代わりに保守色の強い日本維新の会が連立に加わり、益々平和国家への歩みが遠のく状況となっております。これまで歴代内閣が堅持してきた「非核三原則」

## 国民本位の政治を取り戻すため 政治への関心を高めよう

鉄道退職者の会盛岡地方連合会

会長 佐々木 力



あけましておめでとうございます。

昨年の一関市議会議員選挙では、組合員・家族のご

さて、東日本大震災大津波からまもなく15年、一昨年は能登半島地震がありました。自然災害はいつでもどこでも起こりうる可能性があるということを人類は理解し、常に協力協同の社会を構築していく必要があります。また、世界中では紛争が数多く発生しています。すべての人々が幸せになれる社会を追及していくことも重要な課題であることは間違いありません。

人権と民主主義を守り発展させるため、すべての労働者・生活者との連帯を強め、地域に根ざした運動を展開しよう」をスローガンに掲げ今後も運動を推進していきます。憲法9条の堅持、そして誰もが安心して生活できる社会を創り上げる運動を皆さんとともに進めて参りたいと思いますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

「核兵器のない世界」に向け、本来は唯一の戦争被爆国である日本が、国際世論を主導する役割を果たすべきなのに、昨年の参議院選挙では政治の右傾化が進み、逆に「国のありよう」を変えようとしています。

平和憲法における「平和主義」本来の意義を私達は強く訴え続け、過去の過ちを二度とくり返させないために、更に運動を強化していきましょう。

「核兵器のない世界」に向け、唯一の戦争被爆国として日本が取り組んできた核兵器廃絶の歩みを後退させようとしています。

最後に、盛岡地区本部の組合員、ご家族の皆様のご健勝とご活躍をご祈念し、新年のご挨拶と致します。

トやアルバイトを加えるとその実態は計り知れません。今年度年金額1.9%増えても生活はさらに厳しさを増しており、マクロ経済スライドを廃止させない年金引き上げと社会保障の充実が必要不可欠です。

若い世代に保守思想を刷り込む高市政権から国民本位の政治を取り戻すために、日頃から政治への関心を高めましょう。そして平和と民主主義、憲法や環境・人権を守り、安全安心に暮らせる社会をめざし、引き続き取り組みを強めましょう。インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症に留意し、組合員・家族のみならず健康に過ごされることを祈念し挨拶と致します。

協力により国労議員団の千葉信吉さんが4期目の議席を得ることができました。改めて感謝申し上げます。

昨年9月の総務省人口推計では65歳以上の高齢者は全国で3619万人、総人口の29.4%を占めていますが、長引く物価高の中で働かざるを得ないのが現実で、

## 労働者生活相談窓口のご案内

相談日：毎週火曜日  
 相談時間：9時～17時  
 (昼食休憩12時～13時)  
 受付電話：019-622-5021  
 相談場所：国鉄労働組合盛岡地区本部

相談日：毎週金曜日  
 相談時間：13時～16時  
 受付電話：017-766-7270  
 相談場所：国労青森支部 2F会議室

※ 相談者氏名、相談内容等については、外部には一切公表致しません。(秘密厳守)

一般財団法人 国鉄労働会館 盛岡地方部

## 労働者生活相談

労働問題からサラ金問題、財産相続問題など、何にでもご相談ください。

無料相談